

# Showey

9月

おはなしのシャワーを

つるおか市立図書館  
おはなしポケット 2018.9.vol1274

## NEWS なつやすみイベント たのしかったね!!

からすの→  
10ンやさん  
よいしきうば  
10ンがい  
いーじよい!



はらへうす  
← ザうす  
たんじも  
たべちゃう  
ほらへこざるす!

7/18-29までのイベントは今年もたくさん。  
みんなに楽しんでもらいました。夏の  
おはなし会は2日間で154名ものみんなが  
来てくださいました。絵本クイズは71人解答で  
全部正解が55人も! 本もたくさんかりられました。

読みきかせ養成ボランティア講座

♪わらべうた講座 9/15(土)・9/16(日)

子どもに関する大人のための  
わらべうた講座 (定員40名)

9/15(土) 14:00~15:30 2F講座室

東京こども図書館の先生に  
わらべうたの基本を実演を  
見ておしゃれしていくぞ!

親子でわらべうたを楽しもう♪

9/16(日) 0~2歳向け 10:00~10:30  
3~6歳向け 10:40~11:10

東京こども図書館の先生と  
親子でわらべうたで遊んでみよう  
ニコニコソリソリの時間が  
すごせますよ!

お問い合わせ TEL 0235-25-2525  
図書館本館窓口 FAX 0235-25-2526

# 9月

日	月	火	水	木	金	土
---	---	---	---	---	---	---

休館日。毎週月曜日(祝祭日に重なった場合は翌日)

開館時間 平日 9:30~19:00

土日祝祭日 9:30~17:00

2	3 休館日	4	5 4:00~おはすい	6	7	8 3:00~ おはどん
9	10 休館日	11	12 4:00~ おはすい	13	14	15 2:00~わらべうた 講習会 3:00~おはどん
16 10:00~ 親子でわらべうた	17 敬老の日	18 休館日	19 4:00~むかし語り おはすい	20	21	22 3:00~ おはどん
23 秋分の日	24 振替休日 中秋の名月	25 休館日	26 11:00~おはちび 4:00~おはすい	27	28	29 3:00~ 素語りおはなし 会
30						

通常に戻ります。  
おはなし会スタンプカード  
おはなし会ごあんない  
館内おはなし会のコーナー

おはすい おはちび おはどん すがたり  
おはなし会

毎週水曜日  
4:00~4:30  
第4水曜日  
11:00~11:30

毎週土曜日  
9:00~9:30  
季節のおはなし  
紙しばりや  
絵本など

絵本など 道具を  
つかわない語り手に  
によるおはなし会

途中入場・退室OKです。お気軽にどうぞ

館長の

# こども室の 本棚から

日暮れが少しずつ早くなっています。夜空を見上げる機会も増えているのではないでしょうか。今年の仲秋の名月は9月24日だそうです。「お月見の季節も近づいているなあ」と思うわけです。都会よりは、断然街の明かりが少なく、ちょっと車を走らせれば、星空は私たちのものです。

そこで今月は「夜空をみあげよう」(松村由利子文 ジョン・シェリー絵 福音館書店 2016年刊)を取り上げようと思います。文章を書いたのは、長年新聞社で科学環境部や生活家庭部の記者をしていて、現在は文筆活動をしている方です。小さい子には少し難しいかもしれません、星や月など夜空に見られるものを優しい言葉で、お話として書かれていて、子どもでも大人でも、今日の夜、空を見上げたくなる絵本です。

はるかは、四人家族でマンションの最上階に住んでいます。ある日の夕暮れ、ベランダの洗濯物を取り込んでいると、空がどんどん暗くなってきて、西の空に一番星を見つけました。夕ご飯の後、弟ともう一度空を見上げていると、お父さんが、星は



「夜空をみあげよう」  
松村 由利子 文  
ジョン・シェリー 絵  
福音館書店  
2016年

いつでも光っているけど、昼間は明るいから見えないこと。太陽が沈んで暗くなってくると、明るい星から順番に見えてくることを教えてくれました。

おはなしは、次の日からはるかが見上げた夜空の雲のこと、月のこと、星のこと、そして星座のことへと展開していきます。そして、家族で夜空を見上げるのは、ベランダから屋上へ、外を歩いているときも、と広がっていきます。お父さんは、双眼鏡を買っててくれますし、ついには、流れ星を見るためにキャンプに行くことに。

この絵本を読むことで、夜空をみあげてくる人はたくさんいるでしょう。月のことをもっと知りたいと思う人もいるかもしれません。自分もある星座を探してみよう、流れ星を見てみたいと思う人もきっといるでしょう。

子どもたちの自由な興味の広がりに、大人がほんの少し手を貸すことで、子どもも大人も、こんなに素敵な時間を持てるのだと思いました。子どもたちに絵本を手渡すということ、その一つだと思います。どうぞ、一緒に絵本を楽しんでください。



「うちゅうは  
きみのすぐそばに」  
いわやけいすけ ぶん  
みねお みつ え  
福音館書店 2018年



「星座を見つけよう」  
H・A・レイ 文・絵  
草下 英明 訳  
福音館書店  
1980年

## ☆おはなしポケットメンバーおすすめ本☆

「にぐるま ひいて」 ドナルド・ホール文 バーバラ・クニー絵 もきかずこ訳

ほるぷ出版 1980年

秋のある日、父親は荷車に牛をつなぎ、一年間家族みんなで作り、育てたものを何もかも積み込みます。

父親は丘を越え、谷をぬけ、小川をたどり、牛をひいて歩き続けます。そして10日間かかるやっと大きな町の市場に着きました。そこで、運んできた何もかもを売り（箱や袋、荷車も牛も！！）そのお金で、本当に必要なものを買い、ささやかなぜいたく「うす緑色のはっかキャンディ」も買って、また、10日間歩いて家路につくのです。

そして、次の日からまた、若い牛を育て、木を切って荷車を作り、作物を育て、糸をつむぎ…家族みんなで心を込めて生活の糧となる物を作り育てるくり返す暮し。

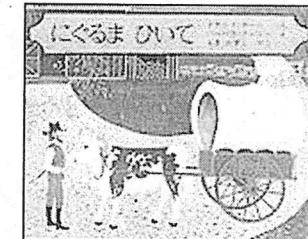
アメリカの開拓時代、日本では江戸時代でしょうか。

手仕事好きの私にとってあこがれの生活ですが、まるで無理……10日間歩けないし、布を織れない、牛も育てられない……人間は退化していますね。

何もかも手づくりしている暮しは、子供達にも驚きでしょう。

このお話は、詩人であるドナルド・ホールが、いとこから聞き、そのいとこはある老人から、またその老人は子どもの頃たいへんな年寄りから……という、大切に語りつがれた話なのです。本当に大切なことは、普遍的であるということでしょうか。

美しい秋の風景の中、慎ましやかな暮らしを味わえる静かな物語です。



にやんこりん

## てあそび♪ やらべうた やってみよう♪

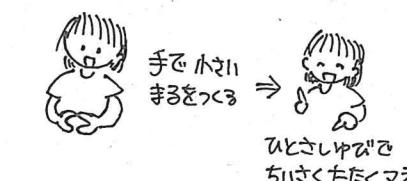
『おおきな たいこ』

中田喜直作曲。海外でも有名だとか。

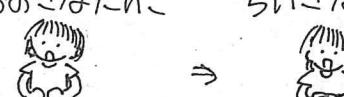
① おおきな たいこ  
ドーンドーン



② ちいさな たいこ トントン

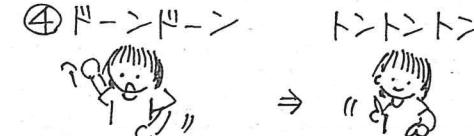


③ おおきな たいこ



ちいさな たいこ

①②のとき  
同じ  
うさぎ



去年9月、  
運動会の  
マッチングで  
太鼓を  
じていた  
ハヌ